

専門学科における実践的な学びに関する意見

(工業分野)

高度専門人材育成の取組は、地域の卓越技能者や産業界との連携体制の構築を通じ、高度な技術の継承や実践的人材の育成が図られるものと期待される。また、高校段階からの卓越技能者等との関わりは、生徒の職業観の醸成や専門的な技術・技能の習得に資するとともに、県内工業高校間のネットワーク構築の取組は、人材の将来的な県内定着をより一層促進するものと期待する。併せて、教育庁と連携実施してきた既存事業（「みやぎクラフトマン21事業」）とも一体的な取組とすることで、より効果的に産業人材の育成を図ることができる考える。

取組にあたっては、実際の生産現場で活用されている技術等から乖離しないよう、企業技術者の教員としての活用や、企業の設備・工場を活用した授業など、企業と学校が常時コミュニケーションを取れる体制の構築のほか、県の産業政策や成長分野を踏まえたカリキュラムの作成とともに、急速な情勢の変化を踏まえた柔軟な見直しをお願いしたい。

(水産業分野)

本県水産業においては、担い手不足や海洋環境の急激な変化等による水産資源の変動など、様々な課題に直面していることから、「水産業の振興に関する基本的な計画（第Ⅲ期）」において陸上養殖に関する技術開発と普及の推進に取り組んでいくこととしており、県水産高等学校における次世代型陸上養殖施設の整備は、これらの施策推進に寄与するものであると考ええる。

こうした取組や環境変動への対応に関する学びを通じて、スマート水産業などの最新の技術を習得し本県水産業の課題に柔軟に対応できる人材が育成されるとともに、大学や民間事業者等の関係機関との連携により、本県における陸上養殖技術の知見の収集や普及が促進されることが期待される。

なお、県内水産業界においては、我が国の水産業を牽引する人材の輩出が期待されており、陸上養殖について IoT 技術等を活用した民間企業の参入が進んでいる状況がある一方で、漁船漁業や水産加工業では人材不足が深刻であるなどの課題も抱えていることから、県水産高等学校には、県内の水産業界のニーズを踏まえた幅広い人材育成にも引き続き取り組んでいただきたい。

(農業分野)

大学や民間企業、研究機関等と連携し、スマート農業やバイオテクノロジー等の先端技術の学びを通じて専門性の高い人材を育成する取組の推進は、農業の生産性向上や高度化に対応できる知識の習得や技術開発能力の獲得を可能にし、農業・農村を取り巻く諸課題の解決や将来の変化に柔軟に対応できる担い手の確保に寄与するものと考ええる。

また、取組の成果や知見を専門高校間で共有し、全体の教育水準の底上げを図る仕組みは、地域農業を支える多様な人材の確保・育成につながることから、本県農業の持続的発展に資するものと考ええる。